



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 川辺株式会社

上場取引所 東

コード番号 8123 URL <https://www.kawabe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 将之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 有田 二郎

TEL 03-3352-7110

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,536	21.6	220		182		199	
2022年3月期第2四半期	4,553	7.2	391		367		341	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 11百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 302百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	109.10	
2022年3月期第2四半期	187.28	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,658	6,064	52.0
2022年3月期	12,299	6,076	49.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,064百万円 2022年3月期 6,076百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,880	19.4	110		190		82		44.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,861,000 株	2022年3月期	1,861,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	35,485 株	2022年3月期	35,365 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,825,634 株	2022年3月期2Q	1,825,668 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における国内経済は、ウクライナ情勢の長期化を要因とする資源価格の高騰や物流の混乱に加え、急激な為替の変動や円安が進行するなど景気への悪影響が懸念される状況が続きました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染対策に万全を期し、ウィズコロナの新たな段階への経済社会活動の移行が進められる中、8月下旬以降からは感染者数が減少傾向に転じたことなど、コロナ禍の沈静化ムードにより過去2年以上に亘る景気停滞から少しずつ上向きに推移いたしました。

当社グループの主要販路である百貨店・直営店舗においても外出機運や消費意欲の高まりから入店客数が増加し、一部の店舗ではコロナ禍前の売上高に近づくなど、市況は徐々に回復基調に転じました。また、今後、水際対策緩和による訪日外国人の増加に伴い、インバウンド消費にも期待を持てる機運に変化しております。

このような状況下、当社グループにおいては、当連結会計年度の重点課題として掲げている新規販路の開拓、EC事業の拡大、収益の改善、マーケティング活動・広報活動強化、SDGsの施策を更に推進し、引き続き新型コロナウイルス感染対策の取り組みも継続しながら積極的に営業活動を進めてまいりました。

また事業継続の観点から、在庫の適正化、経費削減、投資の見直し等に取り組み、円安基調の長期化を前提とした為替予約の活用や一部商品価格の見直し等を行い、原価抑制にも努めてまいりました。

その結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、売上高55億36百万円(前年同期比121.6%)、営業損失2億20百万円(前年同期営業損失3億91百万円)、経常損失1億82百万円(前年同期経常損失3億67百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億99百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失3億41百万円)となり、前第2四半期連結累計期間の業績から大きく改善をいたしました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

## 身の回り品事業

身の回り品事業全体として当第2四半期連結累計期間におきましては、行動制限緩和の影響からリアル店舗での消費は回復基調で推移いたしました。また、外部展示会などにも積極的に参加し、一定の成果が出始めております。

ハンカチーフにつきましては、ギフト需要は全面的な回復には至らなかったものの、引き続き新規取引先の開拓による新しい売上が構築できたことや、主に百貨店におけるクリアランスセールの売上が順調に推移したこと、当社オリジナルによるサステナブル商品の販売や、秋冬物の新柄の一斉投入が功を奏したこと、またハンカチ売場内では高額とされるブランドエコバッグの新作が大きく売上が構築し、前年比109.5%となりました。

スカーフ・マフラーにつきましては、春夏におけるスカーフ市場の繁忙期である母の日需要を取り込むことができたことや、当社におけるスカーフカテゴリーに分類される新アイテムの晴雨兼用傘が順調に売上が構築し、秋物市場の初動に関しましてもシルクスカーフや薄手ストール、無染色カシミアシリーズや、敬老の日対策商品など新作の市場動向が順調に推移した結果、売上は前年比142.6%となりました。

タオル・雑貨につきましては、小中学校におけるプール授業再開によるラップタオルの需要が回復し、売上が牽引いたしました。又、GMSの店頭、EC事業での売上及びハワイアンキルト柄をモチーフとしたタオル製品をメインとしたイベントを百貨店内にて積極的におこなったことや、TV通販も好調に推移した結果、売上は前年比151.9%となりました。

この結果、身の回り品事業での売上は、前年比119.9%となりました。

### フレグランス事業

フレグランス事業の同累計期間におきましては、SNSによる情報発信や飲食店でのイベントを行ったことによりスキンケアブランドがリアル店舗及びEC販路で売上を大きく伸長しました。また、百貨店内でのPOP UPイベントや既存店でのプロモーションを積極的に取り組んだことや、沖縄地区の観光客増加、都市圏における百貨店や直営店の来客数増加も含めて回復基調で推移した結果、売上は前年比131.4%となりました。

全事業といたしましては、前年同期と比べ、売上高の大幅な増加や在庫削減の大幅な進捗により、売上総利益が増額した結果、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する四半期純損益は増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期における「資産合計」は、前連結会計年度末の122億99百万円から116億58百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の減少によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ6億29百万円減少し、55億94百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少、長期借入金の減少によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、60億64百万円となりました。

この結果、当第2四半期における総資産は、前連結会計年度末の122億99百万円から116億58百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日発表の「2022年3月期 決算短信」の業績予想から変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,308,343	1,172,337
受取手形及び売掛金	2,052,007	1,429,295
商品及び製品	3,397,324	3,353,747
仕掛品	44,492	44,909
原材料及び貯蔵品	165,291	166,641
その他	223,539	248,407
貸倒引当金	△1,765	△1,876
流動資産合計	7,189,232	6,413,462
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	793,372	767,224
工具、器具及び備品（純額）	61,592	55,432
土地	1,099,724	1,099,724
その他（純額）	92,834	87,124
有形固定資産合計	2,047,524	2,009,505
無形固定資産	226,845	232,987
投資その他の資産		
投資有価証券	606,040	786,773
投資不動産（純額）	1,596,147	1,583,771
その他	634,010	632,234
投資その他の資産合計	2,836,199	3,002,779
固定資産合計	5,110,569	5,245,272
資産合計	12,299,801	11,658,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,665,968	1,650,099
短期借入金	3,011,356	2,620,930
未払法人税等	50,404	32,607
賞与引当金	12,561	12,987
その他	514,731	436,177
流動負債合計	5,255,021	4,752,801
固定負債		
長期借入金	335,189	215,959
退職給付に係る負債	434,716	449,565
資産除去債務	56,191	53,087
その他	142,571	122,793
固定負債合計	968,668	841,405
負債合計	6,223,690	5,594,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,720,500	1,720,500
資本剰余金	1,770,567	1,770,567
利益剰余金	2,689,531	2,490,340
自己株式	△54,598	△54,709
株主資本合計	6,126,000	5,926,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60,617	105,399
繰延ヘッジ損益	△563	15,308
為替換算調整勘定	25,690	37,534
退職給付に係る調整累計額	△14,399	△20,412
その他の包括利益累計額合計	△49,889	137,828
純資産合計	6,076,111	6,064,527
負債純資産合計	12,299,801	11,658,734

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	4,553,969	5,536,184
売上原価	2,966,133	3,665,301
売上総利益	1,587,835	1,870,882
販売費及び一般管理費	1,979,138	2,090,994
営業損失(△)	△391,302	△220,112
営業外収益		
受取利息	41	26
受取配当金	4,000	4,181
投資不動産賃貸料	59,894	68,268
その他	23,451	30,093
営業外収益合計	87,388	102,570
営業外費用		
支払利息	12,760	13,345
不動産賃貸費用	35,041	39,097
持分法による投資損失	14,273	7,554
その他	1,375	4,572
営業外費用合計	63,452	64,570
経常損失(△)	△367,366	△182,111
特別損失		
固定資産除売却損	171	-
店舗閉鎖損失	1,740	1,398
特別損失合計	1,911	1,398
税金等調整前四半期純損失(△)	△369,277	△183,510
法人税等	△27,350	15,680
四半期純損失(△)	△341,926	△199,190
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△341,926	△199,190



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△341,926	△199,190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,274	166,016
繰延ヘッジ損益	△3,642	15,872
持分法適用会社に対する持分相当額	6,522	11,843
退職給付に係る調整額	△108	△6,013
その他の包括利益合計	39,046	187,718
四半期包括利益	△302,880	△11,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△302,880	△11,472
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△369,277	△183,510
減価償却費	93,581	91,191
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,696	110
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,574	426
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,845	6,180
受取利息及び受取配当金	△4,042	△4,208
支払利息	12,760	13,345
固定資産除売却損益(△は益)	171	-
受取賃貸料	△59,894	△68,268
不動産賃貸費用	13,079	17,857
持分法による投資損益(△は益)	14,273	7,554
売上債権の増減額(△は増加)	942,932	627,525
棚卸資産の増減額(△は増加)	△241,312	41,810
未収入金の増減額(△は増加)	9,661	295
立替金の増減額(△は増加)	△2,175	△3,562
仕入債務の増減額(△は減少)	△232,109	△28,278
未払金の増減額(△は減少)	△29,924	△1,337
未払費用の増減額(△は減少)	△427,736	△9,801
未払消費税等の増減額(△は減少)	△147,106	△83,828
その他の資産・負債の増減額	17,486	4,492
小計	△417,751	427,994
利息及び配当金の受取額	4,042	4,208
利息の支払額	△14,205	△13,067
法人税等の支払額	△23,931	△29,296
営業活動によるキャッシュ・フロー	△451,846	389,839
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△69,538	△16,197
無形固定資産の取得による支出	△12,136	△16,874
投資有価証券の取得による支出	△14,469	△14,715
投資不動産の賃貸による収入	59,894	68,268
投資不動産の賃貸による支出	△13,079	△17,857
差入保証金の回収による収入	18,135	9,559
預り保証金の返還による支出	-	△50,519
預り保証金の受入による収入	-	28,515
その他	427	△2,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,766	△11,921

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	△200,000
長期借入れによる収入	520,000	-
長期借入金の返済による支出	△278,295	△309,656
配当金の支払額	△471	△974
自己株式の取得による支出	△50	△111
リース債務の返済による支出	△4,102	△3,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	737,081	△513,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	254,468	△136,005
現金及び現金同等物の期首残高	908,879	1,308,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,163,348	1,172,337

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	1,663,854	205,887	1,869,742
量販店	701,415	6,879	708,294
専門店、小売店その他	1,535,460	440,471	1,975,932
顧客との契約から生じる収益	3,900,730	653,238	4,553,969
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,900,730	653,238	4,553,969

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	身の回り品事業	フレグランス事業	計
百貨店	2,199,370	269,413	2,468,784
量販店	803,250	8,812	812,062
専門店、小売店その他	1,675,269	580,068	2,255,337
顧客との契約から生じる収益	4,677,890	858,293	5,536,184
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,677,890	858,293	5,536,184

(重要な後発事象)

該当事項はありません。